



発熱・風邪症状がある患者さんのご紹介について 地域の医療機関さまへのお願い



当院ではひきつづき、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、発熱・風邪症状がある患者さん（小児患者さんを含みます）につきまして、専門の発熱外来を設け、場所・時間を分けた診察を行っております。そのため、**事前の予約連絡なしで紹介患者さんが来院されますと、診療をお受けできない場合がございます。**

地域の医療機関さまにはたいへんご不便をおかけいたしますが、**発熱・風邪症状がある患者さんをご紹介いただく場合には、受診日時の調整をさせていただきますので、事前に当院地域医療連携課または病院代表へお電話でご連絡をお願いいたします。**



連携室だより

2024年12月発行

JA長野厚生連

北アルプス医療センターあづみ病院

〒399-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1

編集発行/地域医療連携課

TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

あづみ病院の専門診療をぜひご活用ください！



日頃より当院をご利用いただき、またご紹介ならびに医療連携につきご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院では患者さんが住み慣れた地域で高度かつ専門的な診療をお受けいただけるように、診療分野のセンター化をはかっております。開設しているのは以下センターで専門医による診療を提供しております。地域医療連携課でのご予約も可能ですので、希望される患者さんがおいででしたらぜひご紹介をお願いいたします。

循環器病センター	循環器内科内
肩関節治療センター / 上肢再建外科センター	整形外科内
女性骨盤底医学センター	泌尿器科内
認知症疾患医療センター	精神科内
がん診療センター	各科対応



『オープンベッド（開放型病床）のご案内』 《大北医師会所属の病診連携登録医の先生方へ》

当院では、2005年より「開放型病院システム運営実施要綱」を定め、「オープンベッド（開放型病床）」の届出をし、運用を行っております。大北医師会所属の登録医に対して、病院の施設・設備を開放し、地域医療連携課を通して、あづみ病院の主治医と連絡を取りながら、共同して入院診察・検査・治療をすることができます。

現在、利用可能な入院ベッドを5床ご用意しております。ご希望がありましたら、お気軽に地域医療連携課までご用命、ご相談ください。

『病診連携登録医募集のご案内』（地域の医療機関の先生方へ）

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携医登録制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております



北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携課

TEL (直通) 0261-61-1455 FAX (直通) 0261-61-1456

E-mail renkei@azumi-ghp.jp

受付時間 平日8時30分～17時00分 土曜日8時30分～12時30分 (診療日に限ります)

※ 上記受付時間を過ぎますと電話は夜間休日窓口に転送されます

北アルプス医療センターあづみ病院 地域医療連携広報誌

連携課だより

北アルプス医療センターあづみ病院 理念

質の高い医療と社会への貢献をとおり、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

肩関節治療
センター
Shoulder joint
Treatment Center

CONTENTS

第64回地域連携懇話会

第26回病薬連携懇話会

病院祭 2024

当院からのお知らせとお願いほか

JA長野厚生連

北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

82
December 2024



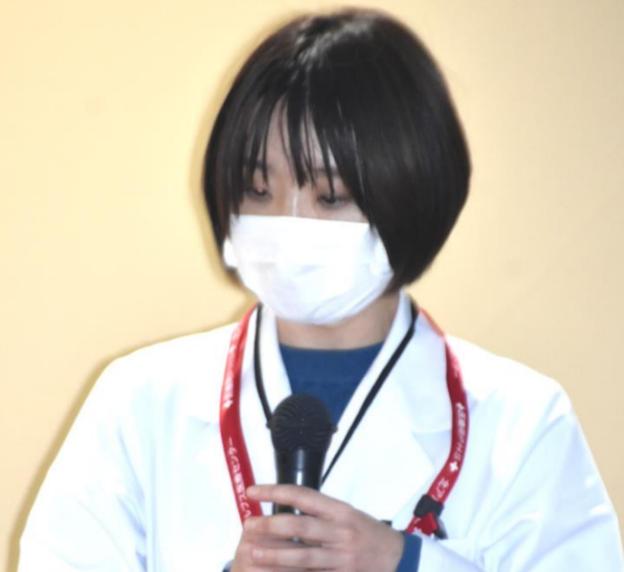
第64回 地域連携懇話会

2024年11月29日 開催
あづみ病院 7F やまなみホール

「医療需要の高い方々の在宅看取りとその課題
～血液疾患の在宅看取りの事例をもとに考える～」
当院血液内科副部長兼在宅支援科副部長 仲村 彩子 医師

「病診連携によって在宅看取りが可能となった一例」
みどりクリニック 院長 張 淑美 先生

「当院がん相談支援センターのご紹介」
当院がん相談支援センター認定がん専門相談員
西澤 亜紀 ソーシャルワーカー



2024年11月29日に第64回北アルプス医療センターあづみ病院地域連携懇話会を開催いたしました。近隣の医療機関の先生方をはじめ、院内外あわせて40名の参加がありました。

当日は松田正之統括院長の挨拶ののち、地域連携ディスカッションにて当院の上半期における紹介割合、逆紹介割合の報告を行いました。

つづく講演は3つの報告で構成され、はじめに当院血液内科副部長兼在宅支援科副部長の仲村彩子医師より「医療需要の高い方々の在宅看取りとその課題～血液疾患の在宅看取りの事例をもとに考える～」をテーマにお話いただきました。患者さん・家族が不安を抱く一方で、「病気を治す」「人生を楽しむ」という強い気持ちを持ち、生きているという時間をどれだけ大切にされているのか、先生が経験された事例を交えながらご紹介いただきました。また、いろいろな患者さんの立場を理解しつつ、それに応える在宅医療の医師の立場から感じることもお話いただきました。胸が熱くなるお話でした。つぎに、みどりクリニック院長の張淑美医師より「病診連携によって在宅看取りが可能となった一例」をテーマに、病診連携が奏功したひとりの症例をもとにお話いただきました。徐々に体調が悪化するなかでも、必要な場面で入院加療し、在宅復帰が可能なタイミングで再度在宅医療へ、その間双方で丁寧な情報共有によりしっかりと患者さんを支えることができた症例でした。先生は患者さんが少しでも不安を感じると身近なクリニックを頼りに受診できるよう配慮されており、適切な病診連携により患者さんが質の高い医療を受けることができ、自宅で最期を迎えることが可能となった経験をご紹介くださいました。最後に当院がん相談支援センター認定がん専門相談員の西澤亜紀ソーシャルワーカーより「当院がん相談支援センターのご紹介」についてお話いただきました。がん相談支援センターとは地域住民ならばどなたでも無料で利用できる相談窓口となっており、治療・療養生活・制度にとどまらず、家族との関わり方などについても相談ができる頼れる場所であると紹介がありました。当院のがん相談支援センターではさまざまなスタッフが寄り添う支援を心掛けながら日々相談支援に携わっておりますので、些細なことでもぜひご相談をお寄せいただければと思います。

講演後にはフロアからもご質問をいただき、学びの多い地域連携懇話会となりました。今回参加いただいたみなさま、参加がかなわなかったみなさまもぜひ次回の地域連携懇話会への参加をお待ちしております。（地域医療連携課 吉田 章悟）

2024年8月29日、当院やまなみホールにて主に地域の薬局様を対象とした第26回あづみ病院病薬連携懇話会を開催し、院内外から34名の関係者の皆様にご参加いただきました。

今回は「在宅患者・在宅医療における薬薬連携を考える」をテーマに、なつめ薬局（池田町）の古畑浩生薬剤師から「在宅における薬剤管理について～服薬支援ロボ～」の話題提供を、当院の窪田和弘薬剤部主任より「退院時薬剤情報管理指導の現状について」の報告が行われました。

途中、服薬支援ロボのデモンストレーションも行われ、実際の動作を供覧することができました。今後当地区でもますます増加が見込まれる独居世帯や高齢世帯における服薬サポートの一助となることが期待される一方、コストを含め運用面ではいくつかの課題もあることが紹介されました。

また、質疑応答も活発に行われ、地域の薬剤師の先生方と多くの意見・情報交換をすることができ、たいへん有意義な会となりました。

今回は来年3月頃に開催予定です。地域の薬局様には近くなりましたらご案内をさせていただきますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。



第26回病薬連携懇話会



毎年恒例の病院祭を10月20日に開催しました。当日は地域の皆さまや関係する皆さまに足をお運びいただき、およそ1,600名の来場がありました。朝から気温が上がらず肌寒い日ではありましたが、お天気にも恵まれ、会場はちびっこからご年配の方まで大勢の方で賑わい、たいへん盛り上がりしました。屋内外の展示場では健康測定ブースや体験型ブースをはじめ、さまざまな催し物を企画し、お楽しみいただきました。地域の皆さまとのきずなを強く感じるとともに、地域に暮らす多くの方の健康を支えられるように、これからも病院をあげて努力を続けていきたいと思っております。来年の病院祭にもぜひご来場ください。